

子どもたちにとっての「居場所」とは？

今、地域では、子どもたちの「居場所」が求められています。

地域は、従来、子どもたちの集団的な活動や体験的な活動ができる場であり、その活動を支える大人がいました。しかし、子どもたちが集まる安全な「場」がなくなりつつあり、またその「場」を支える大人たちも少なくなってきたのが現状ではないでしょうか。

かつて「居場所」とは、不登校の子どもたちのための学校以外の行き場・フリースペースを指す言葉でした。近年は、いじめ問題への取組から“心の”「居場所」といった心理的な側面や、また、平成16年度から文部科学省が実施する「地域子ども教室推進事業」では、学校も含めた地域のなかに、子どもたちの“安全・安心な”「居場所」を確保することの必要性からも語られるようになりました。

第5期東京都生涯学習審議会答申（平成17年1月）においても、子どもを取り巻く課題に的確に対処していくため、子どもの居場所づくりをはじめ、学校、家庭、地域が連携した、あらたな教育施策のしくみづくり（「地域教育プラットフォーム」）を提起しています。

子どもたちを対象とした居場所づくりの活動は、放課後の学校など、地域においてさまざまな施設・場所、運営方法で展開されるようになってきました。

この冊子は、子どもたちの居場所づくりの視点や、居場所に集まる子どもたちの様子、居場所を支える地域の大人たちの活動事例などを紹介しています。居場所づくりの試みが、子どもの成長・発達にどのような意味をもつのかということについて、考えていただくきっかけとなれば幸いです。



目 次

居場所づくりの可能性

記憶のなかの居場所	3
居場所のはたらき	5
地域へ開かれた居場所づくりを	6

居場所づくりとスタッフの魅力

居場所づくりは多様なひと・もの・自然とのかかわりの場づくり	9
居場所づくりは実社会と異世代間のつながりを生む	11
居場所スタッフの魅力	13

居場所づくりの事例

渋谷ファンイン	15
町田市子どもセンターばあん	19
あそびと駄菓子屋「たかさんち」	21

中学生の居場所づくりの可能性を探る

「部活」・学校図書館と中学生の居場所づくり	23
中学生の放課後活動を支援	27

「地域子ども教室推進事業」と居場所づくり

三鷹市地域子ども教室	29
------------	----

資料① 地域子ども教室推進事業

資料② 平成16年度区市町実行委員会等一覧